

AKAMATSU

赤松公民館だより

●ふれあう心 ひろがる笑顔●

2026(令和8年)

5月号

赤松校区のいま(3月末現在)

人	口	8,118人
男		3,840人
女		4,278人
世帯数		3,955世帯

発行：佐賀市立赤松公民館
〒840-0022
佐賀市中の館町4番10号
TEL・FAX: 23-6002
E-mail: kakamatsu@city.saga.lg.jp
「佐賀駅バスセンター」3番のりば
佐賀市営バス 広江・和崎線「中の館」
下車 徒歩2分

令和8年度 赤松公民館運営方針

1 多様な未来をつなげる活動

- 地域の住民や子どもたちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う「協働的な学び」の一体的な充実を推進します。
- これまで大切にしてきた地域に伝わる文化・歴史などを伝承する活動に、住民が主体的に取り組める学習機会を提供します。

2 地域との連携を深める活動

- 地域団体や地元企業などとの連携・協働により、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の発展を目指します。
- 多様な経験を持つ地域人材や企業などの協力を得て、地域コミュニティの拠点として連携の強化をはかり、公民館利活用の幅を広げます。

3 いつでも何処でも学べる活動

- 住民一人ひとりが生涯を通じて学び育ちあう機会を提供し、生きがいつくりや自己啓発ができる活動を推進します。
- AIが進展するなかにあって、デジタルコンテンツを上手く活用できない住民の情報格差解消に向けて、デジタル講座の推進を図ります。

主催講座のお知らせ

申込 赤松公民館(23-6002) ※平日8:30~17:15

必ず公民館へ事前に
お申し込みをお願いします

第1回 赤松大人塾～まなびのひろば

相続登記と遺言について

家族の形や家族間の関係が多様化している現代において、以前とは変わってきている事、変わっていない事、様々な相続や遺言についてのお話です。

日時 6月8日(月) 10:00~11:30

場所 赤松公民館 大会議室

講師 益田 信博さん(益田司法書士事務所)

参加費 無料



第2回 赤松大人塾～まなびのひろば

薬の上手な付き合い方

日時 7月13日(月) 10:00~11:30

場所 赤松公民館 大会議室

講師 川崎 一範さん(やまぐち薬局薬剤師)

参加費 無料

薬についての質問のある方は当日講師がお答えします。



令和8年度人権ふれあい学級

だれもが暮らしやすい社会に向けて～さまざまな人権問題から～

日時 6月22日(月) 10:40~11:40

場所 赤松公民館 大会議室

講師 佐賀市社会人権・同和教育指導員 西 勝弘さん

参加費 無料



※10時より、赤松校区社会人権・同和教育推進協議会の総会が開催されます。

第2回 さが学講座

鍋島直茂と豊臣秀吉

日時 7月27日(月)
10:00~11:30

場所 赤松公民館 大会議室

講師 中尾 由香梨さん
(佐賀大学全学教育機構 教授)

参加費 無料



聴こえと認知症予防講座

年齢とともに「聴こえ」は少しずつ変化します。聴こえにくさは人との会話が減り、認知症のリスクにも関係するといわれています。この講座では言語聴覚士が聴こえのことや認知症との関係について、分かりやすくお話しします。

日時 6月17日(水) 13:30~14:30

場所 赤松公民館 大会議室(後半の聴力チェックは和室1で行います)

講師 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

申込 赤松公民館(23-6002)へ

問合せ おたっしや本舗城南(41-5770)



最近、こんなことはありませんか？

- ・人の話を聞き返すことが増えた
- ・会話が聞き取りにくい

共催：赤松まちづくり協議会げんき部会 × おたっしや本舗城南

赤松みちくさ記 (第二十四回)

佐賀城本丸を訪れて！

赤松公民館館長 粟屋 茂

佐賀城本丸歴史館では、佐賀城の歩みをたどるテーマ展「佐賀城を知る」が開催されており、立ち寄って見た。佐賀城本丸御殿は約260年にわたって藩政の部局が置かれていた場所のほか、藩主の執務室や私邸としての空間だった「奥」として使われていた場所だ。本丸御殿が現存しているのは、全国でわずか2か所だけで、埼玉県の川越城本丸御殿、そしてもう一つが高知県に残る高知城本丸御殿とのことだ。とりわけ、本丸御殿の「奥」の存在が確認されているのは、唯一佐賀城だけだと言う。かつて城郭や陣屋は、江戸時代末期には全国で約300の居城があり、そのうち天守を持つ城は約170城あったと言う。しかし、現在残る天守は12城で、天守の93%が消失した。日本の各地から一気に城が無くなったのは、明治に発令された「廃城令」が原因にある。徴兵令によって国の軍隊が整備（組織化）され、軍事・行政の合理化のもと多くの城が廃棄された。しかし、お城の立地上の価値や、国の軍事拠点として活用される城は生き延びることができたようだ。江戸城は皇居として利用され、大阪城は大阪鎮台として活用され、鎮台や軍隊司令部として役割をあたえられた城が各地に残っている。

さて、話を佐賀城に戻すと、廃城令が発布された翌年（明治7年）に佐賀戦争が勃発し、江藤新平らが率いる土族軍が佐賀城を一時占拠したが、政府軍が攻撃して平定された歴史がある。その後、政府軍によって城内の施設が取り壊されたが、学校用地として活用される運命を辿り、形を変えながらも幸いにも今に残ったようだ。今回のテーマ展では、江戸時代後期の「慶長小城内絵図」が展示されており、佐賀城絵普請から間もない城下の様子が伺える貴重な資料を見ることができた。絵図には5層の天守も描かれているが、資料によれば享保11年（1726）に、天守は火災で全焼したそうだ。全焼した理由はともかく残念だ。

ところで、佐賀県は2026年度まで佐賀城本丸の「奥」エリアの映像に迫る発掘調査を進めている。現在発掘されている場所には、藩主や藩主を取り巻く御殿女中が仕切る「奥」や「内」とよばれる居住部屋があった。中奥の役人などの立入り原則禁止されていたなど、厳格な区別がされていたのが特徴だ。現在、調査が進められているのは、南側にある庭園跡付近を調べているとの事で、全容が現れるのが待ち遠しい。全国初の前例のない文化遺産として、できることなら完全復元した「奥座敷」を見てみたいものだ。

(参考：ワールド城城びと、佐賀新聞より)



佐賀城の発掘「御風呂屋」付近

みんなで楽しく ヘルシークッキング

- 主催** 赤松校区食生活改善推進協議会
- 日時** 各回 10:00~13:00 (受付開始9:45)
- 場所** 赤松公民館 調理室
- 参加費** 500円 **定員** 20名程度 (受付順)
- 持ち物** エプロン・三角巾・筆記用具・味噌汁

(普段、食している味噌汁の塩分濃度を測定します。大さじ1程度お持ちください。)

- 申込み** 二次元コードまたは、赤松公民館 (23-6002)
- 問い合わせ** E-mail akamatsu.shokukai@gmail.com

申込み・詳細はコチラから→

メニューなど詳細が決まり次第、二次元コードの画面にてお知らせします。



【開催予定日】

- 6/13 (土) 対象：一般
- 7/11 (土)、7/12 (日) 対象：親子
- 9/5 (土) 対象：一般 (野菜)
- 1/21 (木) 対象：男性



赤松公民館 (倉庫) に土のうを備蓄しています

出水期に備えて、早めのご準備を！
*ご希望の方は、平日8:30~17:15に事務室にお越しください。
配布は、原則として赤松校区の方といたします。
沢山備蓄していますが、無くなり次第配付は終了します。



自転車の違反に対して 交通反則通告制度 「青切符」を適用

道路交通法改正
令和8年4月1日 施行
原則、自転車の悪質・危険な交通違反が青切符の対象



行事予定

- 8日 (月) 赤松大人塾 赤松シャチ運営委員会
- 10日 (水) 民生委員・児童委員協議会定例会 子育てサロン まちづくり協議会役員会
- 13日 (土) 食改ヘルシークッキング教室
- 18日 (木) 自治会長会
- 20日 (土) 社協・福祉協力員研修
- 21日 (日) 休館日
- 22日 (月) 社会人権・同和教育推進協議会 (総会) 人権ふれあい学級
- 23日 (火) 社協常任理事会
- 24日 (水) 老人クラブ連合会定例会
- 28日 (日) えがお食堂

6月



公民館の主催講座や 地域行事のご報告はこちら

【つながる赤松】

<https://www.tsunasaga.jp/akamatsu/>



赤松まちづくり協議会の紹介を更新しました！ぜひご覧ください。